

発表論文 タイトル

※当 NPO 法人に報告くださった英文論文発表を中心に掲載。（～2020 年 9 月までの分）

英文論文 16 本、日本語論文 5 本

※敬称略、所属・肩書は提出、発表当時のもの

- 2010 年 東邦大学医療センター佐倉病院外科
二本柳康博 先生（先端がん医療研究助成 H20 年度）
『Tissue expression of Toll-like receptors 2 and 4 in sporadic human colorectal cancer』
- 2012 年 千葉県がんセンター整形外科
岩田慎太郎 先生（骨・軟部腫瘍研究基金）
『Efficacy of carbon-ion radiotherapy and high-dose chemotherapy for patients with unresectable Ewing's sarcoma family of tumors』
- 2012 年 千葉県がんセンター
竜崇正先生、浜野公明先生、高野英行先生、中川原章先生
どこでも MY カルテ研究会事業を活用
『がん診療における遠隔がん診断画像システムの有用性』
- 2015 年 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科
岩田慎太郎 先生（先端がん医療研究助成 H22 年度、H28 年度）
『Oligo-Recurrence of Osteosarcoma Patients : Treatment Strategies for Pulmonary Metastases』
- 2016 年 千葉県がんセンターリハビリテーション科 音楽療法士
長島律子 先生（先端がん医療研究助成 H26、29、30 年度）
国際医療福祉大学審査学位論文（修士論文として完成）
『がん専門病院に於ける音楽聴取の生理学的・心理学的効果
～唾液アミラーゼ活性変動と気分評価解析の検討～』
- 2017 年 千葉県がんセンターリハビリテーション科 音楽療法士 長島律子 先生
千葉県がんセンター診療部長・緩和ケアセンター長 藤里正視 先生
千葉県がんセンター緩和ケア病棟看護師・がん性疼痛看護認定看護師 青柳麻衣子さん
「世界音楽療法大会」シンポジウム発表論文
『The Potential Therapeutic Power of Music for Cancer Patients』

「日本音楽療法学会誌」掲載論文
『生命の終焉に寄り添った音楽』長島律子 先生

- 2018年 千葉大学大学院医学研究院 薬理学
安西尚彦 先生（先端がん医療研究助成 H29年度、H30年度）
『Catalytic asymmetric synthesis of α -methyl-p-boronophenylalanine』
- 2018年 千葉大学大学院医学研究院 薬理学
安西尚彦 先生（先端がん医療研究助成 H29年度、H30年度）
『Different Response Profiles of Gastrointestinal Cancer Cells to an L-Type Amino Acid Transporter Inhibitor, JPH203』
- 2018年 浦安ふじみクリニック院長、NPO 法人医療・福祉ネットワーク千葉理事長
竜崇正 先生（どこでもMYマイカルテ研究会事業を活用）
『多職種が情報を共有して行う在宅医療介護連携、浦安市医師会の取り組み』
- 2019年 帝京大学ちば総合医療センター 外科
首藤潔彦 先生（先端がん医療研究助成 H23年度、H28年度）
『Hepatic blood flow by perfusion computed tomography as an imaging biomarker for patients with gastric cancer』
- 2019年 帝京大学ちば総合医療センター 外科
首藤潔彦 先生（先端がん医療研究助成 令和元年度）
『Diagnostic performance of diffusion-weighted magnetic resonance imaging in assessing lymph node metastasis of esophageal cancer compared with PET』
- 2019年 千葉県がんセンター整形外科
木下英幸 先生（骨・軟部腫瘍研究基金）
『Skeletal Muscle Cell Oxidative Stress as a Possible Therapeutic Target in a Denervation-Induced Experimental Sarcopenic Model』
- 2019年 千葉県がんセンター整形外科
木下英幸 先生（骨・軟部腫瘍研究基金）
『Successful total en bloc spondylectomy of the L3 vertebra with a paravertebral giant cell tumor following preoperative treatment with denosumab : a case report』
- 2019年 千葉県がんセンター整形外科

- 木下英幸 先生 (骨・軟部腫瘍研究基金)
『Case Report : Giant Muscle Invasive Dermatofibroma Clinically Mimicking a Malignant Tumor』
- 2019年 千葉県がんセンター整形外科
木下英幸 先生 (骨・軟部腫瘍研究基金)
『Case Report : Giant Protruding Nodular Fasciitis of the Anterior Chest Wall Clinically Mimicking a Soft Tissue Sarcoma』
- 2020年 千葉県がんセンター 肝胆膵外科
星野敢 先生 (先端がん医療研究助成 H28、29、30年度)
『Radiogenomics predicts the expression of microRNA-1246 in the serum of esophageal cancer patients』
- 2020年 千葉県がんセンター 緩和医療科
坂下美彦 先生
(先端がん医療研究助成 H30年度／患者交流サポート事業 R元年度)
『ディグニティ個別音楽療法プログラム「あなたの大切なメロディーの開発」
(Development of Dignity Individual Music Therapy Program “Your Important Melody”)
- 2020年 千葉大学医学部先端応用外科
早野康一 先生 (先端がん医療研究助成 H30年度)
『Histogram Analysis of Diffusion-Weighted MR Imaging as a Biomaker to Predict Survival of Surgically Treated Colorectal Cancer Patients』
- 2020年 千葉県がんセンター画像診断部
高野英行 先生
『Pulmonary surfactant itself must be a strong defender against SARS-CoV-2』
- 2020年 千葉大学医学部先端応用外科
早野康一 先生 (先端がん医療助成 令和元年度)
『Quantification of Structural Heterogeneity Using Fractal Analysis of Contrast-Enhanced CT Image to Predict Survival in Gastric Cancer Patients』